



Résonance du son et
de l'objet-La rencontre entre
les Structures sonores
Baschet et Taro Okamoto

F・バシエ生誕100年、日本万国博覧会から50年

音と造形の
レゾナンス

—バシエ音響彫刻と
岡本太郎の共振

4/25/sat — 7/12/sun

主催/川崎市岡本太郎美術館 開館時間/9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館日/月曜日(5月4日を除く)、5月7日、5月8日 料金/一般900円(720円)、
高・大学生・65歳以上700円(560円)、中学生以下無料、()内は20名以上の団体料金 後援/在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本、公益財団法人日仏会館 企画協力/バシエ協会 協力/大阪府、東京藝術大学 GEIDAI FACTORY LAB、京都市立芸術大学 芸術資源研究センター、和光大学、digiart, Inc.
助成/公益財団法人花王芸術・科学財団

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枳形7-1-5 生田緑地内 tel.044-900-9898 <http://www.taromuseum.jp>

Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki



F・バシェ生誕100年、
日本万国博覧会から50年

音と造形のレゾナンス — バシェ音響彫刻と岡本太郎の共振

岡本太郎は、芸術がすべての人と共有するものであるという理念を貫き、《太陽の塔》をはじめとする多くのパブリック作品を制作しました。彼と同じく、誰でも自由に演奏することのできる楽器でありオブジェでもある「音響彫刻」という新しいスタイルを生み出した芸術家がフランソワ・バシェとベルナール・バシェの兄弟です。フランスで過ごした岡本太郎とバシェ兄弟。フランスの風土と文化が彼らの芸術観を育んだのです。バシェ兄弟の作り上げた「音響彫刻」の造形美と音響は、世界的な評価を得てパリ装飾芸術美術館やMOMAなど世界各地の美術館で展示されました。1970年の大阪万博には鉄鋼館ディレクターであった、作曲家・武満徹がフランソワ・バシェを招聘して鉄鋼館に展示されました。芸術に対する心情を同じくする岡本太郎の《太陽の塔》とバシェ兄弟の「音響彫刻」は万国博覧会を

舞台上で偶然にも隣り合わせとなって多くの人々に共感を与えることとなったのです。万国博覧会以後、鉄鋼館に保管されていた「音響彫刻」は、大阪府(当時・万博記念機構)、東京藝術大学、京都市立芸術大学が中心となり、当時と変わらぬ美しい造形美と音響を取り戻しました。

本展は、現在国内に存在するバシェの「音響彫刻」5点を一堂に集め岡本太郎の芸術空間で共演させるといった試みです。会場では、音楽アーティストによる演奏会やワークショップなどのイベントを開催いたします。《高木フーン》《川上フーン》《桂フーン》《渡辺フーン》《勝原フーン》のそれぞれ異なる個性的な造形は、奏でる人によって無限の音色を発し、岡本太郎の作品との共演によって更なる芸術的空間を創造し人々を魅了するでしょう。



岡本太郎《飛ぶ眼》キャンバス、油彩 1961年



岡本太郎 梵鐘《歡喜》ブロンズ 1965年



F・バシェ《渡辺フーン》1970年
大阪府蔵 photo by Yuki Moriya



F・バシェ《勝原フーン》1970年 大阪府蔵

EVENT ※各イベントは企画展示室で無料(要観覧料)で参加できます。

レクチャー「バシェから受け継ぎ、未来へつなぐ」

F・バシェの愛弟子マルティ・ルイツがバシェの世界を語る
日時/4月26日(日)14:00~16:00
演奏・講師/マルティ・ルイツ(サウンド・アーティスト、バシェ研究者)

ワークショップ「バシェ音響彫刻の世界で遊ぼう」

音響体験を通してバシェの世界を楽しむワークショップ
日時/4月29日(水祝)14:00~16:00
演奏・講師/マルティ・ルイツ 定員/30名
対象/大人から子どもまで、ご家族でも参加可。(未就学児は保護者同伴)
申込/電話受付、先着順 4月7日(火)10:00受付開始

マルティ・ルイツ コンサート

音楽家のマルティ・ルイツが打楽器奏者の永田砂知子と共演
日時/5月3日(日)15:00~16:00
演奏/マルティ・ルイツ、永田砂知子(打楽器奏者)

ワークショップ&トーク

日時/5月4日(月祝)
トーク/13:30~14:30 岡田加津子が語るフランスのバシェ工房の滞在記
ワークショップ/14:45~15:30 バシェ教育音具を使ったワークショップ
講師/岡田加津子(作曲家) 定員/40名(ワークショップ)
対象/大人から子どもまで、ご家族でも参加可。(未就学児は保護者同伴)
ワークショップ申込/電話受付、先着順 4月7日(火)10:00受付開始

アンサンブル・ソノーラ コンサート

バシェを愛してやまない京都の4人組アンサンブル・ソノーラによる演奏会
日時/5月5日(火祝)、5月6日(水振休)14:00~15:00
演奏/「アンサンブル・ソノーラ」岡田加津子、北村千絵(ボーカリスト)、沢田穠治(作曲家・ベーシスト)、渡辺亮(パーカッショニスト)

内橋和久 コンサート

ベルリンと東京を拠点に活動する音楽家、内橋和久がバシェ音響彫刻に挑む
日時/5月10日(日)15:00~16:00 演奏/内橋和久(音楽家)

大倉正之助 「五行彩調」

和楽器とバシェ音響彫刻との初めてのコラボレーション
日時/5月24日(日)14:00~15:00
一部・大倉正之助ソロ演奏 二部・大倉正之助、永田砂知子の共演
演奏/大倉正之助(大鼓奏者)、永田砂知子

灰野敬二 コンサート

演奏家として様々な楽器の可能性を引き出す灰野敬二がバシェ音響彫刻に挑む
日時/6月7日(日)15:00~16:00
演奏/灰野敬二(音楽家)

シンポジウム&コンサート

日時/6月21日(日)
シンポジウム/13:00~14:30
1970年大阪万博、武満徹、F・バシェについて語る
登壇者/船山隆(音楽学者)、柿沼敏江(音楽学者)、川崎弘二(電子音楽研究)
コンサート/武満徹「四季」15:00~15:30
大阪万博・鉄鋼館でバシェ音響彫刻のために作曲、演奏された武満徹の「四季」を演奏
演奏/山口恭範(打楽器奏者)吉原すみれ(打楽器奏者)野尻小矢佳(打楽器奏者)前田啓太(打楽器奏者)

シンポジウム

バシェ音響彫刻の楽器としての側面と音が脳に与える影響について語る
日時/6月27日(土) 13:00~15:00
登壇者/亀川徹(音響学)、仁科エミ(情報環境学)
司会/永田砂知子

バシェ音響彫刻×《マリンバピンポン》演奏会

内容/原倫太郎(現代美術家)の木琴卓球《マリンバピンポン》と安江佐和子による音響彫刻の競演
日時/7月4日(土) 14:00~14:45
演奏/安江佐和子(パーカッショニスト)他、卓球選手
会期中に《マリンバピンポン》で遊ぶこともできます。

鈴木昭男コンサート

何からでも音をつむぎ出してしまおう鈴木昭男がバシェ音響彫刻を奏でる
日時/7月12日(日) 15:00~16:00
演奏/鈴木昭男(サウンド・アーティスト)

会場音響 BASCHET with meditone®

AIが奏でるバシェ音響彫刻の音色が会場内にサウンドオブジェクトとして流れる
期間/4月下旬~7月12日(日)
提供/山村寿一(digiart,Inc.)

Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枅形7-1-5 生田緑地内
tel.044-900-9898 <http://www.taromuseum.jp>

